工　事　仕　様　書

年　度	令和　7　年度		
番　号	配給施　第　　号		
道路名	一般県道阿児磯部鳥羽線		
履行場所	鳥羽市安楽島町地内		
工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事(4-2工区)		
設計金額	一金　　円也		
工　期	令和 8 年 3 月 16 日限り		

工　事　の　概　要

施工延長　L=365.1m

DIP-GXφ300布設	L=365.1m
DIP-GXφ250布設	L=3.2m
仕切弁設置φ300	N=2.0箇所
仕切弁設置φ250	N=1.0箇所
急速空気弁設置φ25	N=1.0箇所
応急給水栓設置φ75	N=1.0箇所
排泥管工φ100	N=1.0箇所
管路土工	N=1.0式
本復旧工	N=1.0式
仮設工	N=1.0式

起　工　理　由

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
上水道工事（１）		式		1		
配水管改良工事		式		1		
配水管工(DIP-GXφ300)		式		1		
配水管材料（DIP-GXφ300）	管材費対象	式		1		
鋳鉄管吊込み据付工	φ300	m		364.4		
GX型継手工	φ300　直管	口		62		
GX型継手工	φ300　異形管	口		8		
GX型継手工	φ300　異形管 G-Link	口		10		

鳥羽市

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
メカニカル継手工	φ75以下	口		2		
フランジ継手工	φ75　JWWA 7.5k	口		1		
鋳鉄管切断工	φ300	口		8		
仕切弁設置工	φ300	基		2		
空気弁設置工	φ25	基		1		
仕切弁室設置工	DP=0.8m	箇所		2		
空気弁室設置工	DP=0.8m	箇所		1		
埋設標識シート設置工	幅150mmダブル	m		364.4		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ロケーティングワイヤー設置工		m		364.4		
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ300	m		364.4		
現場発生品及び支給品運搬	4t積　2.9t吊　27.2km　0.9t	回		1		
配水管工(DIP-GXφ250)		式		1		
配水管材料（DIP-GXφ250）	管材費対象	式		1		
鋳鉄管吊込み据付工	φ250	m		2.5		
GX型継手工	φ250　異形管	口		3		
GX型継手工	φ250　異形管 G-Link	口		1		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
メカニカル継手工	φ250	口		2		
フランジ継手工	φ250　JWWA 7.5k	口		2		
鋳鉄管切断工	φ250	口		1		
不断水連絡工	DIP　φ250×φ250	箇所		1		
仕切弁設置工	φ250	基		1		
仕切弁室設置工	DP=0.8m	箇所		1		
埋設標識シート設置工	幅150㎜ダブル	m		2.5		
ロケーティングワイヤー設置工		m		2.5		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ250	m		2.5		
配水管工(DIP-GXφ100)		式		1		
配水管材料(DIP-GXφ100)	管材費対象	式		1		
鋳鉄管吊込み据付工	φ100	m		0.7		
GX型継手工	φ100　異形管	口		1		
埋設標識シート設置工	幅150mmダブル	m		0.7		
ロケーティングワイヤー設置工		m		0.7		
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ100	m		0.7		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
配水管工(DIP-GXφ75)		式		1		
配水管材料（DIP-GXφ75）	管材費対象	式		1		
GX型継手工	φ75　異形管	口		2		
仕切弁設置工	φ100以下	基		1		
仕切弁室設置工	DP=0.8m	箇所		1		
配水管工(HPPEφ75)		式		1		
配水管材料（HPPEφ75）	管材費対象	式		1		
ポリエチレン(融着接合)据付工	φ75	m		22.1		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ポリエチレン(融着接合)継手工	φ75	口		2		
ポリエチレン(融着接合)継手工	φ75　2口/箇所	箇所		3		
メカニカル継手工	φ75以下	口		2		
ポリエチレン管切断工	φ75	口		3		
フランジ継手工	φ75　JWWA 7.5k	口		2		
応急給水栓設置工	φ75	基		1		
応急給水栓室設置工	DP=0.8m	箇所		1		
埋設標識シート設置工	幅150mmダブル	m		22.1		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ロケーティングワイヤー設置工		m		22.1		
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ75	m		22.1		
排泥管工		式		1		
排泥管材料	管材費対象	式		1		
鋳鉄管吊込み据付工	φ100	m		0.7		
GX型継手工	φ100　異形管	口		1		
メカニカル継手工	φ100	口		1		
フランジ継手工	φ100	口		1		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
仕切弁設置工	φ100	基		1		
仕切弁室設置工	DP=0.8m	箇所		1		
硬質塩化ビニル管据付工	φ100	m		3.7		
硬質塩化ビニル管TS継手工	φ100	口		4		
メカニカル継手工	φ100	口		1		
硬質塩化ビニル管切断工	φ100	口		3		
埋設標識シート設置工	幅150㎜ダブル	m		0.7		
ロケーティングワイヤー設置工	HIVP	m		4.4		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ポリエチレンスリーブ被覆工	φ100	m		0.7		
管路土工		式		1		
舗装版切断	CO　t=15c以下	m		25		
舗装版切断	AS　t=15c以下	m		6		
舗装版切断	AS　t=15cm超30cm以下	m		770		
舗装版破砕積込	CO　t=15cm以下	m2		7		
舗装版破砕積込	AS　t=15cm以下	m2		2		
舗装版破砕積込	AS　t=15cm超40cm以下	m2		270		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
管路掘削	土砂	m3		280		
管路埋戻し	クッション砂	m3		110		
管路埋戻し	RC-40	m3		110		
下層路盤	RC-40　t=10cm	m2		2		
下層路盤	RC-40　t=12cm	m2		266		
上層路盤	RC-40　t=15cm	m2		273		
アスファルト舗装工	再生密粒度AS(13)　t=5cm	m2		275		
殻運搬	CO殻	m3		1		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
殻運搬	AS殻	m3		53		
処分費	CO殻　無筋	m3		1		
処分費	AS殻	m3		53		
発生土運搬		m3		280		
汚泥運搬		m3		5		
処分費	汚泥	t		6		
本復旧工(県道)		式		1		
不陸整正	補足材なし	m2		586		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
上層路盤	M-30　t=10cm	m2		749		
切削オーバーレイ	一次切削　表層(改質As密粒Ⅱ型)t=5cm、基層(再生粗粒度As)t=5cm	m2		1,330		
路面切削	二次切削	m2		503		
目地材設置	成形目地　5mm×50mm	m2		38		
殻運搬(路面切削)	AS殻	m3		184		
処分費	AS殻	m3		184		
区画線工	溶融式　実線　白　幅15cm	m		420		
区画線工	溶融式　実線　黄　幅15cm	m		6		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
区画線工	溶融式　実線　白　幅30cm	m		5		
区画線工	溶融式　記号・文字　白　15cm換算	m		5		
区画線工	溶融噴射式　矢羽根(青1.5×0.75)	箇所		3		
区画線工	溶融噴射式　自転車マーク付き矢羽根(2.2×0.75)	箇所		1		
本復旧工(民有地)		式		1		
舗装版切断	CO　t=15c以下	m		24		
舗装版切断	AS　t=15c以下	m		10		
舗装版破砕積込	CO　t=15cm以下	m2		5		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
舗装版破砕積込	AS　t=15cm以下	m2		11		
掘削	土砂	m3		2		
不陸整正	補足材M-30 t=3cm	m2		5		
上層路盤	M-30　t=10cm	m2		12		
アスファルト舗装工	再生密粒度AS(13)　t=5cm	m2		17		
殻運搬	CO殻	m3		0.5		
殻運搬	AS殻	m3		0.6		
処分費	CO殻　無筋	m3		0.5		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
処分費	AS殻	m3		0.6		
発生土運搬		m3		2		
汚泥運搬		m3		0.2		
処分費	汚泥	t		0.2		
区画線工	溶融式　実線　白　幅30cm	m		2		
区画線工	溶融式　記号・文字　白　15cm換算	m		7		
仮設工		式		1		
交通誘導警備員		人		80		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	上水道工事（１）

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
ポンプ運転	作業時排水 2台	日		5		
ポンプ設置・撤去		日		5		
軽量鋼矢板設置・撤去 土工9号	矢板長2.5m	m		1.5		
直接工事費		式		1		
共通仮設		式		1		
共通仮設費		式		1		
運搬費		式		1		
貨物自動車による運搬	路面切削機	台		2		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
共通仮設費（率計上）		式		1		
純工事費		式		1		
現場管理費		式		1		
工事原価		式		1		
一般管理費等		式		1		
スクラップ評価額		式		1		
工事価格		式		1		
消費税相当額		式		1		

工事数量総括表

		工事名	安楽島地区重要給水施設配水管改良工事（4-2工区）	当初	事業区分	水道工事
					工事区分	共通仮設費

工事区分・工種・種別・細別	規格	単位	前回数量	今回数量	数量増減	摘要
工事費計		式		1		

安楽島地区重要給水施設配水管改良工事

数 量 計 算 書

【4-2工区】

１．配水管工

φ300　資材計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式 1路線	3路線				計	備　考
DIP GX直管	S種 φ300×6,000	本	56					56	
DIP GX直管	1種 φ300×6,000	本	6					6	切管計算書より 切管用
DIP GX二受Ｔ字管	φ300×φ100	個	1					1	
DIP GX二受Ｔ字管	φ300×φ300	個	1					1	
DIP GX挿し受片落管	φ300×φ250	個		1				1	
DIP GX片受曲管	φ300×11 1/4°	個	5					5	
DIP GX継輪	φ300	個	1					1	
DIP GX両受短管	φ300	個	1					1	
DIP GX排水Ｔ字管	φ300×φ100	個	1					1	
DIP GX Ｆ付Ｔ字管	φ300×φ75	個	1					1	
DIP G-Link	φ300	個	10					10	
DIP GX帽	φ300	個	1					1	
DIP GXﾗｲﾅ	φ300	個	11					11	
FCD ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	GX受挿 φ300	基	2					2	
DIP GX異形管接合部品	φ300	組	7	1				8	
FCD補修弁(ﾎﾞｰﾙ式)	φ75×150H	基	1					1	
急速空気弁	φ25	基	1					1	
ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	補修弁用 φ75	組	2					2	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	φ75	組	1					1	
RFパッキン	φ75	枚	1					1	
ﾌﾗﾝｼﾞ結合補強具	LSP型パッキン SUSﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄφ75 7.5K	組	1					1	
仕切弁筐	DP=0.8m	箇所	2					2	
空気弁筐	DP=0.8m	箇所	1					1	
埋設標識シート	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	363.71	0.65				364.4	
ロケーティングワイヤー		m	363.71	0.65				364.4	
ポリエチレンスリーブ	φ300	m	363.71	0.65				364.4	

φ300　布設計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式 1路線	3路線				計	備　考
鋳鉄管布設工	φ300	m	363.71	0.65				364.4	ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁控除
鋳鉄管接合工	GX形 直管 φ300	口	62					62	
鋳鉄管接合工	GX形 異形管 φ300	口	7	1				8	
鋳鉄管接合工	GX形 異形管 φ300(G-Link)	口	10					10	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ75	口	2					2	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75	口	1					1	
鋳鉄管切断工	ﾊﾟｲﾌﾟ切削切断機 φ300	口	8					8	切管計算書より
仕切弁設置工	φ300	基	2					2	
空気弁設置工	φ25	箇所	1					1	
仕切弁筐設置工	DP=0.8m	箇所	2					2	
空気弁筐設置工	DP=0.8m	箇所	1					1	
残管ｽｸﾗｯﾌﾟ	DIP GXφ300(1種)	kg	701.7					701.7	切管計算書より
埋設標識シート設置工	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	363.71	0.65				364.4	
ロケーティングワイヤー設置工		m	363.71	0.65				364.4	
ポリエチレンスリーブ被覆工		m	363.71	0.65				364.4	

φ250　資材計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　式 3路線					計	備　考
DIP GX直管	I種 φ250×5,000	本	1					1	切管計算書より 切管用
DIP GX片受曲管	φ250×45°	個	2					2	
DIP GX短管1号	φ250	個	1					1	
ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	ﾌﾗﾝｼﾞ型 φ250	基	1					1	
DIP G-Link	φ250	個	1					1	
DIP GX異形管接合部品	φ250	組	3					3	
不断水割Ｔ字管(F型)	DIP用 φ250×φ250	個	1					1	
ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	φ250	組	2					2	
ﾌﾗﾝｼﾞ結合補強具	LSP型パッキン SUSﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄφ250 7.5K	組	2					2	
仕切弁筐	DP=1.2m	箇所	1					1	
埋設標識シート	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	2.54					2.5	
ロケーティングワイヤー		m	2.54					2.5	
ポリエチレンスリーブ	φ250	m	2.54					2.5	

φ250　布設計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　式 3路線					計	備　考
鋳鉄管布設工	φ250	m	2.54					2.5	ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁・不断水Ｔ字管控除
鋳鉄管接合工	GX形 異形管 φ250	口	3					3	
鋳鉄管接合工	GX形 異形管 φ250(G-Link)	口	1					1	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ250	口	2					2	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ250	口	2					2	
鋳鉄管切断工	ﾊﾟｲﾌﾟ切削切断機 φ250	口	1					1	切管計算書より
不断水連絡工	DIP用 φ250×φ250	箇所	1					1	
仕切弁設置工	φ250	基	1					1	
仕切弁筐設置工	DP=1.2m	箇所	1					1	
残管ｽｸﾗｯﾌﾟ	DIP GXφ250(1種)	kg	194.5					194.5	切管計算書より
埋設標識シート設置工	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	2.54					2.5	
ロケーティングワイヤー設置工		m	2.54					2.5	
ポリエチレンスリーブ被覆工		m	2.54					2.5	

φ100　資材計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			2路線						
DIP GX挿し受片落管	φ100×φ75	個	1					1	
DIP GX異形管接合部品	φ100	組	1					1	
埋設標識シート	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	0.65					0.7	
ロケーティングワイヤー		m	0.65					0.7	
ポリエチレンスリーブ	φ100	m	0.65					0.7	

φ100　布設計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式 2路線					計	備　考
鋳鉄管布設工	φ100	m	0.65					0.7	
鋳鉄管接合工	GX形 異形管 φ100	ロ	1					1	
埋設標識シート設置工	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	0.65					0.7	
ロケーティングワイヤー設置工		m	0.65					0.7	
ポリエチレンスリーブ被覆工		m	0.65					0.7	

φ75　資材計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　式 2路線					計	備　考
FCD ｿﾌﾄｼｰﾙ仕切弁	GX受挿 φ75	基	1					1	
DIP GX異形管接合部品	φ75	組	2					2	
仕切弁筐	DP=0.8m	箇所	1					1	

φ75　布設計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			2路線						
鋳鉄管接合工	GX形 異形管 φ75	口	2					2	
仕切弁設置工	φ75	基	1					1	
仕切弁筐設置工	DP=0.8m	箇所	1					1	

φ75　資材計算書　(HPPE)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			2路線						
EF片受直管	φ75×5,000	本	2					2	
ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管	φ75×5,000	本	1					1	切管計算書より 切管用
EFｿｹｯﾄ	φ75	個	2					2	
EFﾍﾞﾝﾄﾞ　両受	φ75×90°	個	1					1	
ﾒｶ消火栓用ﾍﾞﾝﾄﾞ	φ75×90°	個	1					1	
FCD補修弁(ﾎﾞｰﾙ式)	φ75×150H	基	1					1	
応急給水栓	φ75	基	1					1	
ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	補修弁用 φ75	組	2					2	
ﾌﾗﾝｼﾞ結合補強具	LSP型パッキン SUSﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄφ75 7.5K	組	2					2	
応急給水栓室	DP=0.8m	箇所	1					1	
異種管継手	GX形 φ75	個	1					1	
埋設標識シート	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	22.06					22.1	
ロケーティングワイヤー		m	22.06					22.1	
ポリエチレンスリーブ	φ75	m	22.06					22.1	

φ75　布設計算書　(HPPE)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
			2路線						
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管布設工	融着接合 φ75	m	22.06					22.1	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	1口融着接合 φ75	口	2					2	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管継手工	2口融着接合 φ75	箇所	3					3	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ75	口	2					2	
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工	φ75	口	3					3	切管計算書より
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ75	口	2					2	
応急給水栓設置工	φ75	基	1					1	
応急給水栓室設置工	DP=0.8m	箇所	1					1	
埋設標識シート設置工	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m	22.06					22.1	
ロケーティングワイヤー設置工		m	22.06					22.1	
ポリエチレンスリーブ被覆工		m	22.06					22.1	

管材および管布設延長集計表　GXφ300

単距離	追加距離	直管	切管		DIP 異形管部																													接合口数							備考
			GXとの接合		ﾗｲﾅ		曲　管				両受曲管		継輪	両受短管	短管1号	短管2号	乙字管	乙字管	二受T字管	二受T字管	F付T字管	排水T字管	片落管		仕切弁		GX接続材料	G-Link	GX帽	ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	ﾎﾞｰﾙ式補修弁	急速空気弁	GX継手工	NS継手工	GX継手工	GX継手工	ﾒｶﾆｶﾙ継手工	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	
			GX(S種)		GX用	NS用	90°	45°	22°1/2	11°1/4	45°	22°1/2					H300	H450					受挿	挿受	受挿	両受			φ300	φ75	φ300	75×150H	φ25	直管	直管	異形管	G-link	φ75	φ300	φ75	
		6.00	甲(m)	乙(m)	0.054	0.05	0.82	0.57	0.47	0.40	0.26	0.17	0.30	0.02	0.10	0.48	1.14	1.33	0.79	0.48	0.46	0.28	0.42	0.41	0.70	0.40	個	個	個	組	組	組	基	基								
1路線																																									
0.00	0.00																																								
														1														2													
0.02	0.02													0.02																							2				
				1																																					
1.00	1.02			1.00																																					
										1																	1														
0.40	1.42									0.40																										1					
			1		1																																				
4.32	5.74		4.27		0.05																													1							
																					1							1		2		2	1	1							
0.46	6.20																				0.46																1	2		1	
		1			1																																				
6.05	12.26	6.00			0.05																													1							
										1																	1														
0.40	12.66									0.40																										1					
		1			1																																				
6.05	18.71	6.00			0.05																													1							
		20																																							
120.00	138.71	120.00																																20							
			1		1																																				
1.37	140.09		1.32		0.05																													1							
										1																		1													
0.40	140.49									0.40																											1				
		1			1																																				
6.05	146.54	6.00			0.05																													1							
		3																																							
18.00	164.54	18.00																																3							
			1		1																																				
1.58	166.12		1.53		0.05																													1							
										1																		1													
0.40	166.52									0.40																											1				
		1			1																																				
6.05	172.58	6.00			0.05																													1							
		2																																							
12.00	184.58	12.00																																2							
			1																																						
5.26	189.84		5.26																															1							
										1																		1													
0.40	190.24									0.40																											1				
		1			1																																				
6.05	196.29	6.00			0.05																													1							
		24																																							
144.00	340.29	144.00																																24							
小計		54	4 20.32	1 8.33	8					5				1							1						2	6		2		2	1	1	58		2	6	2		1	

管材および管布設延長集計表　GXφ300

単距離	追加距離	直管	切管		DIP 異形管部																													接合口数							備考
			GXとの接合		ﾗｲﾅ		曲　管				両受曲管		継輪	両受短管	短管1号	短管2号	乙字管	乙字管	二受T字管	二受T字管	F付T字管	排水T字管	片落管		仕切弁		GX接続材料	G-Link	GX帽	ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	ﾎﾟｰﾙ式補修弁	急速空気弁	GX継手工	NS継手工	GX継手工	GX継手工	ﾒｶﾆｶﾙ継手工	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	
		GX(S種)	甲	乙	GX用	NS用	90°	45°	22°1/2	11°1/4	45°	22°1/2											受挿	挿受	受挿	両受							75×150H	φ25	直管	直管	異形管	G-link	φ75	φ300	φ75	
		6.00	(m)	(m)	0.054	0.05	0.82	0.57	0.47	0.40	0.26	0.17	0.30	0.02	0.10	0.48	1.14	1.33	0.79	0.48	0.46	0.28	0.42	0.41	0.70	0.40	個	個	個	組	組	組	基	基								
			1																																						
1.71	342.00		1.71																															1							
																				1								1													
0.48	342.48																			0.48																	1				
		1			1																																				
6.05	348.54	6.00			0.05																													1							
			1		1																																				
4.05	352.59		4.00		0.05																													1							
													1															2													
0.30	352.89												0.30																								2				
				1																																					
1.70	354.59			1.70																																					
																									1		1														
0.70	355.29																								0.70											1					
																			1								1														
0.79	356.08																		0.79																	1					
																						1					2														
0.28	356.36																					0.28														2					
																									1			1													
0.70	357.06																								0.70												1				
				1																																					
2.00	359.06			2.00																																					
		1			1																																				
6.05	365.11	6.00			0.05																													1							
																											1		1												
																																				1					
3路線																																									
0.00	0.00																																								
																								1																	
0.41	0.41																							0.41																	
																			(1)								1														
0.00	0.41																		0.24																	1					分岐部
小計		2	2	2	3								1						1	1		1		1	2		6	4	1						4		6	4				
			5.71	3.70																																					
合計	365.52	56	6	3	11					5			1	1					1	1	1	1		1	2		8	10	1	2		2	1	1	62		8	10	2		1	
			26.03	12.03																																					

管材および管布設延長集計表　　　GXφ250

単距離	追加距離	直管 GX(S種) 5.00	切管 GXとの接合 甲 （m）	切管 GXとの接合 乙 （m）	切管 NSとの接合 甲 （m）	切管 NSとの接合 乙 （m）	DIP 異形管部 ﾗｲﾅ GX用 0.04	ﾗｲﾅ NS用 0.04	曲管 90° 0.85	曲管 45° 0.57	曲管 22°1/2 0.46	曲管 11°1/4 0.41	両受曲管 45° 0.28	両受曲管 22°1/2 0.16	継輪 0.25	両受 短管 0.02	短管 1号 0.10	短管 2号 0.46	乙字管 H300 1.06	乙字管 H450 1.24	片落管 受挿 250×200 0.44	片落管 挿受 250×200 0.44	仕切弁 受挿 0.68	仕切弁 両受 0.30	仕切弁 両ﾌﾗﾝｼﾞ 0.38	GX 接続 材料 個	G-Link 個	ﾌﾗﾝｼﾞ 補強金具 φ250 組	ﾌﾗﾝｼﾞ 補強金具 φ75 組	ﾌﾗﾝｼﾞ 継手材 φ250 組	ﾌﾗﾝｼﾞ 継手材 φ75 組	ﾎﾞｰﾙ式 補修弁 75× 150H 基	急速 空気弁 φ75 基	DIP用 不断水 割T字管 250×250 0.29	接合口数 GX 継手工 直管	NS 継手工 直管	GX 継手工 異形管	GX 継手工 G-link	ﾒｶﾆｶﾙ 継手工 φ250	ﾒｶﾆｶﾙ 継手工 φ75	ﾌﾗﾝｼﾞ 継手工 φ250	ﾌﾗﾝｼﾞ 継手工 φ75	備考
3路線																																											
0.00	0.00																																										
																																		1									
0.29	0.29																																	0.29									
																									1			2		2													
0.38	0.67																								0.38														2		2		
																	1									1																	
0.10	0.77																0.10																				1						
										1																1																	
0.57	1.34									0.57																											1						
										1																	1																
0.57	1.91									0.57																												1					
				1																						1																	
1.30	3.21			1.30																																	1						挿し受分
				1						2							1								1	3	1	2		2				1									
合計	3.21			1.30																																	3	1	2		2		

管材および管布設延長集計表　　GXφ100

単距離	追加距離	直管	切管				DIP 異形管部																																				備考
			GXとの接合		NSとの接合		ﾗｲﾅ		曲　管				両受曲管		継輪	両受短管	短管1号	短管2号	乙字管	乙字管	二受T字管	排水T字管	片落管		仕切弁			GX接続材料	G-Link	ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材		接合口数								
		GX(S種)	甲	乙	甲	乙	GX用	NS用	90°	45°	22°1/2	11°1/4	45°	22°1/2					H300	H450	300×100	300×100	受挿 100×75	挿受 100×75	受挿	両受	FCD製ﾌﾗﾝｼﾞ型	個	個	組	組	φ100 組	φ75 組		GX継手工直管	NS継手工直管	GX継手工異形管	GX継手工G-link	ﾒｶﾆｶﾙ継手工φ100	ﾒｶﾆｶﾙ継手工φ75	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工φ100	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工φ75	
		4.00	(m)	(m)	(m)	(m)	0.03	0.03	0.52	0.42	0.38	0.36	0.16	0.12	0.20	0.02	0.08	0.39	0.87	1.04	0.48	0.28	0.41	0.41	0.49	0.18	0.25															
2路線																																											
0.00	0.00																																										
																								1																			
0.41	0.41																							0.41																			
																					(1)							1															
0.24	0.65																				0.24															1							分岐部
	合計																							1				1								1							

管材および管布設延長集計表　　GXφ75

単距離	追加距離	直管	切管				DIP 異形管部																															備考
			GXとの接合		Kとの接合			曲　管				両受曲管		継輪	短管1号	短管2号	乙字管	乙字管	二受T字管		片落管		仕切弁		GX接続材料		ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具φ75	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材φ75	DIP用異種管継手×150	不断水分岐×100	不断水分岐×75	接合口数					
																					受挿	挿受	受挿	両受								GX継手工	GX継手工	GX継手工	ﾒｶﾆｶﾙ継手工	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	
																								(UU)								直管	異形管	G-link	φ75	φ75	
		GX(S種)	甲	乙	甲	乙	ﾗｲﾅ	90°	45°	22°1/2	11°1/4	45°	22°1/2				H300	H450	100×75	75×75	100×75	100×75				G-Link					0.29						
		4.00	(m)	(m)	(m)	(m)	0.03	0.48	0.40	0.36	0.34	0.14	0.10	0.19	0.08	0.39	0.83	1.01	0.44	0.44	0.41	0.41	0.49	0.18	個	個	組	組										
2路線																																						
0.00	0.00																																					
																							1		2													挿し受分含む
0.49	0.49																						0.49										2					
合計	0.49																						1		2								2					

管材および管布設延長集計表　　HPPEφ75

単距離	追加距離	EF受口付直管	ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管	切管		EFｿｹｯﾄ	HPPE 継手																		ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	ﾎﾞｰﾙ式補修弁	鋳鉄製T字管	地下式消火栓	応急給水栓	ﾒｶ消火栓用ﾍﾞﾝﾄﾞ	GX異形管部		接合口数					備考
							両受ﾍﾞﾝﾄﾞ				片受ﾍﾞﾝﾄﾞ				EF両受チｰｽﾞ	EF両受チｰｽﾞ	EFキャップ	EF両受	EF 両受Sﾍﾞﾝﾄﾞ			EF 片受Sﾍﾞﾝﾄﾞ										GX接続材料	GX異種管継手	融着接合継手工	融着接合継手工	ﾒｶﾆｶﾙ継手工	GX継手工異形管	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	
		HPPE	HPPE	甲	乙		90°	45°	22°1/2	11°1/4	90°	45°	22°1/2	11°1/4	×50	×75		75*50	H300	H450	H600	H300	H450	H600	φ75	φ75	150H	×75	×75	φ75	φ75×90°			1口	2口			φ75	
		5.00	5.00	(m)	(m)		0.44	0.38	0.28	0.26	0.54	0.48	0.38	0.36	0.08	0.08		0.34	0.80	1.01	1.22	0.90	1.11	1.32	組	組	基	0.71	基	基		個	0.62						
2路線																																							
0.00	0.00																																						
																									2	2	1			1	1								
0.00	0.00																																			2		2	
					1	1																																	
1.00	1.00				1.00																													1					
					1	1																																	
2.50	3.50				2.50																													1					
					1																																		
2.00	5.50				2.00																																		
							1																																
0.44	5.94						0.44																											2					
				1																																			
3.00	8.94			3.00																														1					
		2																																					
10.00	18.94	10.00																																2					
				1																																			
2.50	21.44			2.50																														1					
																																	1						
0.62	22.06																																0.62						
合計	22.06	2		2 5.50	3 5.50	2	1																		2	2	1			1	1		1	6	2	2		2	

切管計算書

管　種 DIPφ300 1種　L=6.0m	番号	甲切管 (m)	乙切管 (m)				計 (m)	残管 (m)	切断 (口)	溝切切断 (口)	溝切 (口)	既設切断 (口)
	1											
	2											
	3											
	4											
	5											
	6											
	7											
	8											
	9											
	10											
	11											
	12											
	13											
	14											
	15											
	16											
	17											
	18											
	19	GX-G 4.27	GX-G 1.00				5.27	0.73	2			
	20	GX-G 1.32	GX-G 1.70				3.02	2.98	2			
	21	GX-G 1.53					1.53	4.47	1			
	22	GX-G 5.26					5.26	0.74	1			
	23	GX-G 1.71					1.71	4.29	1			
	24	GX-G 4.00	GX-G 2.00				6.00		1			
計		18.09				4.70	22.79	13.21	8			

DIP-GX　直管φ300(1種)	6	本
DIP-NS　直管φ300(1種)		本
DIP-GX　挿し口リングφ300		個
鋳鉄管切断工φ300	8	口
鋳鉄管切断・溝切り同時加工φ300(GX形)		口
鋳鉄管挿し口加工φ300(GX形)(タッピンネジ式)		口
残管スクラップ	13.21m×53.12(kg/m)= 701.7	kg

切管計算書

管　種 DIPφ250 1種　L=5.0m	番号	甲切管 (m)	乙切管 (m)				計 (m)	残管 (m)	切断 (口)	溝切切断 (口)	溝切 (口)	既設切断 (口)
	25		GX-G 1.30				1.30	3.70	1			
計						1.30	1.30	3.70	1			

DIP-GX　直管φ250(1種)	1	本
DIP-NS　直管φ250(1種)		本
鋳鉄管切断工φ250	1	口
鋳鉄管切断・溝切り同時加工φ250(GX形)		口
残管スクラップ	3.70m×44.49(kg/m)+29.9(受口)=　194.5	kg

切管計算書

管　種 HPPEφ75 L=5.0m	番号	甲切管 (m)	乙切管 (m)				計 (m)	残管 (m)	切断 (口)			
	28	2.50	2.50				5.00		1			
	29	3.00	2.00				5.00		1			
	30		1.00				1.00	4.00	1			
計		5.50				5.50	11.00	4.00	3			

EF受口付直管φ75	2	本
ﾌﾟﾚｰﾝｴﾝﾄﾞ直管φ75	1	本
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管切断工φ75	3	口

２．排泥管工

φ100　資材計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
					排泥管②				
DIP GX短管2号	φ100	個			1			1	
FCD仕切弁	ﾌﾗﾝｼﾞ型 φ100	基			1			1	
DIP GX異形管接合部品	φ100	組			1			1	
ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具	φ100	組			1			1	
ﾌﾗﾝｼﾞ結合補強具	LSP型パッキン SUSﾎﾞﾙﾄ・ﾅｯﾄφ100 7.5K	組			1			1	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手材	φ100	組			1			1	
RFパッキン	φ100	枚			1			1	
仕切弁筐	DP=0.8m	箇所			1			1	
埋設標識シート	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m			0.66			0.7	
ロケーティングワイヤー		m			0.66			0.7	
ポリエチレンスリーブ	φ100	m			0.66			0.7	

φ100　布設計算書　(DIP-GX)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
					排泥管②				
鋳鉄管布設工	φ100	m			0.66			0.7	FCD仕切弁控除
鋳鉄管接合工	GX形 異形管 φ100	ロ			1			1	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ100	ロ			1			1	
ﾌﾗﾝｼﾞ継手工	φ100	ロ			1			1	
仕切弁設置工	φ100	基			1			1	
仕切弁筐設置工	DP=0.8m	箇所			1			1	
埋設標識シート設置工	幅150mmﾀﾞﾌﾞﾙ	m			0.66			0.7	
ロケーティングワイヤー設置工		m			0.66			0.7	
ポリエチレンスリーブ被覆工		m			0.66			0.7	

φ100　資材計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
				排泥管②					
HIVP直管	φ100	m		3.7				3.7	L=4.0m 切管用
HIVPｴﾙﾎﾞ	φ100	個		2				2	
MFｼﾞｮｲﾝﾄ	φ100	個		1				1	
ロケーティングワイヤー		m		3.74				3.7	

φ100　布設計算書　(HIVP)

名　　称	形状寸法	単位	算　　式					計	備　考
				排泥管②					
塩ビ管布設工	φ100	m		3.74				3.7	
TS接合工	φ100	口		4				4	
ﾒｶﾆｶﾙ接合工	φ100	口		1				1	
塩ビ管切断工	φ100	口		3				3	切管計算書より
ロケーティングワイヤー設置工		m		3.74				3.7	

管材および管布設延長集計表　　GXφ100

単距離	追加距離	直管	切管				DIP 異形管部																												接合口数								備考
			GXとの接合		NSとの接合		ﾗｲﾅ		曲　管				両受曲管		継輪	両受短管	短管1号	短管2号	乙字管	乙字管	二受T字管	排水T字管	片落管		仕切弁			GX接続材料	G-Link	ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具φ100	ﾌﾗﾝｼﾞ補強金具φ75	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材φ100	ﾌﾗﾝｼﾞ継手材φ75		GX継手工直管	NS継手工直管	GX継手工異形管	GX継手工G-link	ﾒｶﾆｶﾙ継手工φ100	ﾒｶﾆｶﾙ継手工φ75	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工φ100	ﾌﾗﾝｼﾞ継手工φ75	
																							受挿	挿受	受挿	両受	FCD製ﾌﾗﾝｼﾞ型																
		GX(S種)	甲	乙	甲	乙	GX用	NS用	90°	45°	22°1/2	11°1/4	45°	22°1/2					H300	H450	300×100	300×100	100×75	100×75																			
		4.00	(m)	(m)	(m)	(m)	0.03	0.03	0.52	0.42	0.38	0.36	0.16	0.12	0.20	0.02	0.08	0.39	0.87	1.04	0.48	0.28	0.41	0.41	0.49	0.18	0.25	個	個	組	組	組	組										
排泥管②																																											
0.00	0.00																																										
																						(1)						1															排水T字
0.27	0.27																					0.27															1						分岐部
																		1												1		1											
0.39	0.66																	0.39																				1		1			
																											1					1											
0.25	0.91																										0.25													1			
合計	0.91																	1									1	1		1		2					1		1		2		

管材および管布設延長集計表　　HIVPφ100

単距離	追加距離	HIVP 切管 φ100 (m)	HIVP エルボ φ100 個	HIVP 45° エルボ φ100 個	MF ジョイント φ100 個	接合口数 TS 継手工 φ100	接合口数 メカニカル 継手工 φ100	備考
排泥管② 0.00	0.00							
		1			1			
2.84	2.84	2.84					1	
		1	1					
0.60	3.44	0.60				2		
		1	1					
0.30	3.74	0.30				2		
合計	3.74	3 3.74	2		1	4	1	

切管計算書

管　種 HIVPφ100 L=4.0m	番号	乙切管 (m)					計 (m)	残管 (m)	切断 (口)			
	27	2.84	0.60	0.30			3.74	0.26	3			
計						3.74	3.74	0.26	3			

HIVP直管φ100	2	本
塩ビ管切断工φ100	3	口

３．管路土工

本設管布設土工集計表

上段は、単位数値。

	単位	土工 1号	土工 2号	土工 3号	土工 4号	土工 5号	土工 6号	土工 7号	土工 8号	土工 9号		合計	≒
土 工 延 長	箇所 m	365.76	2.27	1.56	3.14	0.49	6.66	3.07	12.33	1箇所			
舗装切断工　Co t=15cm以下	m								20.00 24.66			24.7	25
舗装切断工　As t=15cm以下	m							20.00 6.14				6.1	6.0
舗装切断工　As t=15cm超え30cm以下	m	20.00 731.52	20.00 4.54	20.00 3.12	20.00 6.28	20.00 0.98	20.00 13.32			5.80		765.6	770
舗装版 直接掘削積込工　Co t=15cm以下	m2								5.50 6.78			6.8	7
舗装版 直接掘削積込工　As t=15cm以下	m2							5.50 1.69				1.7	2
舗装版破砕工　As t=15cm超え40cm以下	m2	7.00 256.03	6.50 1.48	5.50 0.86	5.50 1.73	5.50 0.27	5.50 3.66			2.10		266.1	270
舗装版積込工　As t=15cm超え40cm以下	m2	7.00 256.03	6.50 1.48	5.50 0.86	5.50 1.73	5.50 0.27	5.50 3.66			2.10		266.1	270
機械掘削工	m3	7.14 261.15	6.31 1.43	4.51 0.70	4.46 1.40	4.35 0.21	4.35 2.90	5.17 1.59	4.90 6.04	3.42		278.8	280
機械埋戻工　ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	2.84 103.88	2.48 0.56	1.65 0.26	1.61 0.51	1.53 0.07	1.53 1.02	1.53 0.47	1.53 1.89	1.53		110.2	110
機械埋戻工　RC-40	m3	2.66 97.29	2.47 0.56	2.09 0.33	2.09 0.66	2.09 0.10	2.09 1.39	3.03 0.93	2.75 3.39	1.64		106.3	110
下層路盤工　RC-40　t=10cm	m2							5.50 1.69				1.7	2
下層路盤工　RC-40　t=12cm	m2	7.00 256.03	6.50 1.48	5.50 0.86	5.50 1.73	5.50 0.27	5.50 3.66			2.10		266.1	266
上層路盤工　RC-40　t=15cm	m2	7.00 256.03	6.50 1.48	5.50 0.86	5.50 1.73	5.50 0.27	5.50 3.66		5.50 6.78	2.10		272.9	273
仮復旧工　再生密As t=5cm	m2	7.00 256.03	6.50 1.48	5.50 0.86	5.50 1.73	5.50 0.27	5.50 3.66	5.50 1.69	5.50 6.78	2.10		274.6	275
ｺﾝｸﾘｰﾄ殻処理　ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運搬	m3								0.55 0.68			0.7	1.0
ｱｽﾌｧﾙﾄ殻処理　ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運搬	m3	1.40 51.21	1.30 0.30	1.10 0.17	1.10 0.35	1.10 0.05	1.10 0.73	0.28 0.09		0.42		53.3	53
残土処理　ﾀﾞﾝﾌﾟﾄﾗｯｸ運搬	m3	7.14 261.15	6.31 1.43	4.51 0.70	4.46 1.40	4.35 0.21	4.35 2.90	5.17 1.59	4.90 6.04	3.42		278.8	280
汚泥給排車運搬工	m3	※As舗装切断延長　× 0.006375 796.4　× 0.006375										5.1	5
汚泥処理	t	※As舗装切断延長　× 0.006375　× 1.1 796.4　× 0.006375　× 1.1										5.6	6

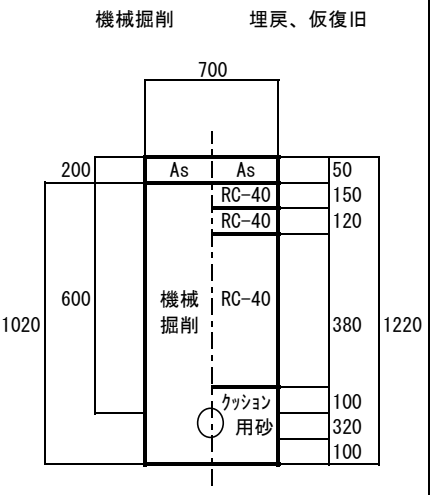
土工延長調書

測　　点	平面延長	管水路工														備　考
		1号	2号	3号	4号	5号	6号	7号	8号	9号						
	(m)	(m)								(箇所)						
(上流)　　(下流)																
1路線　　(EP)																
NO.46 + 43.59 ～ NO.54 + 8.70	365.11	365.11														素掘
2路線																
	0.65			0.65												素掘
	0.49					0.49										素掘
	6.66						6.66									素掘
	12.33								12.33							素掘
	3.07							3.07								素掘
3路線																
	0.65	0.65														素掘
	2.27		2.27													素掘
不断水分岐部										1						土留
排泥管②																
	0.91			0.91												素掘
	3.14				3.14											素掘
合計	395.28	365.76	2.27	1.56	3.14	0.49	6.66	3.07	12.33	1						395.28

1号　　DIP-GX φ300　　県道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.70	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.320	DIP-GX φ300 mm
舗装切断工	As t=20cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版破砕工	As t=20cm	m2	7.00	0.70 ＊ 10.0
舗装版積込工	As t=20cm	m2	7.00	0.70 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	7.14	0.70 ＊ 1.020 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	2.84	(0.70 ＊ 0.520 － π/4＊ 0.320 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	2.66	0.70 ＊ 0.380 ＊ 10.0
下層路盤工	RC-40 t=12cm	m2	7.00	0.70 ＊ 10.0
上層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	7.00	0.70 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	7.00	0.70 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	1.40	0.70 ＊ 0.20 ＊ 10.0
残土運搬		m3	7.14	

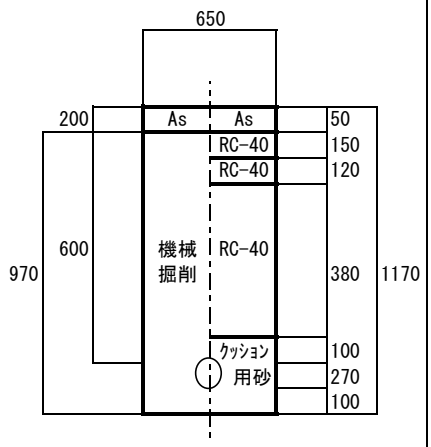
掘削標準断面図



2号　　DIP-GX φ250　　県道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.65	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.270	DIP-GX φ250 mm
舗装切断工	As t=20cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版破砕工	As t=20cm	m2	6.50	0.65 ＊ 10.0
舗装版積込工	As t=20cm	m2	6.50	0.65 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	6.31	0.65 ＊ 0.970 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	2.48	(0.65 ＊ 0.470 － π/4＊ 0.270 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	2.47	0.65 ＊ 0.380 ＊ 10.0
下層路盤工	RC-40 t=12cm	m2	6.50	0.65 ＊ 10.0
上層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	6.50	0.65 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	6.50	0.65 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	1.30	0.65 ＊ 0.20 ＊ 10.0
残土運搬		m3	6.31	

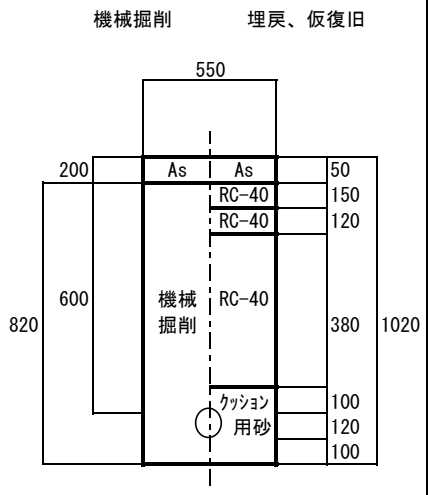
掘削標準断面図



3号　　DIP-GX φ100　　県道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.55	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.120	DIP-GX φ100 mm
舗装切断工	As t=20cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版破砕工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装版積込工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	4.51	0.55 ＊ 0.820 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.65	(0.55 ＊ 0.320 － π/4＊ 0.120 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	2.09	0.55 ＊ 0.380 ＊ 10.0
下層路盤工	RC-40 t=12cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
上層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	1.10	0.55 ＊ 0.20 ＊ 10.0
残土運搬		m3	4.51	

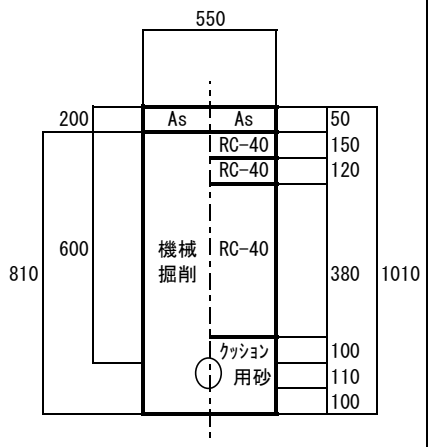
掘削標準断面図



4号　　HIVP φ100　　県道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.55	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.110	HIVP φ100 mm
舗装切断工	As t=20cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版破砕工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装版積込工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	4.46	0.55 ＊ 0.810 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.61	(0.55 ＊ 0.310 － π/4＊ 0.110 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	2.09	0.55 ＊ 0.380 ＊ 10.0
下層路盤工	RC-40 t=12cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
上層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	1.10	0.55 ＊ 0.20 ＊ 10.0
残土運搬		m3	4.46	

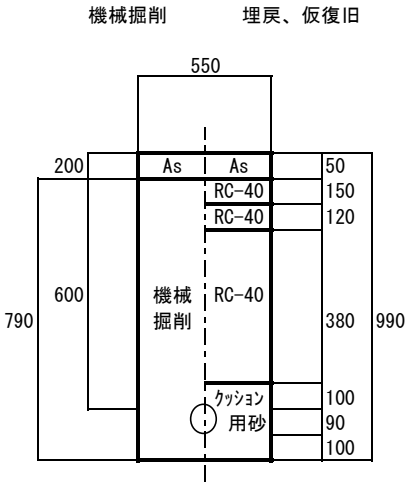
掘削標準断面図



5号　　DIP-GX φ75　　県道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.55	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.090	DIP-GX φ75 mm
舗装切断工	As t=20cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版破砕工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装版積込工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	4.35	0.55 ＊ 0.790 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.53	(0.55 ＊ 0.290 － π/4＊ 0.090 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	2.09	0.55 ＊ 0.380 ＊ 10.0
下層路盤工	RC-40 t=12cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
上層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	1.10	0.55 ＊ 0.20 ＊ 10.0
残土運搬		m3	4.35	

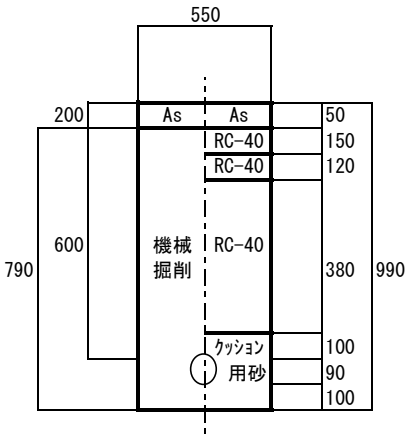
掘削標準断面図



6号　　HPPE φ75　　県道　車道　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.55	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.090	HPPE φ75 mm
舗装切断工	As t=20cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版破砕工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装版積込工	As t=20cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	4.35	0.55 ＊ 0.790 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.53	(0.55 ＊ 0.290 － π/4＊ 0.090 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	2.09	0.55 ＊ 0.380 ＊ 10.0
下層路盤工	RC-40 t=12cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
上層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	1.10	0.55 ＊ 0.20 ＊ 10.0
残土運搬		m3	4.35	

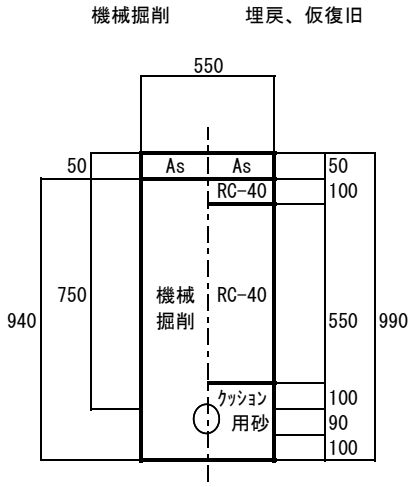
掘削標準断面図



7号　　HPPE φ75　　As舗装部(民地)　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.55	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.090	HPPE φ75 mm
舗装切断工	As t=5cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版直接掘削積込工	As t=5cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	5.17	0.55 ＊ 0.940 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.53	(0.55 ＊ 0.290 － π/4＊ 0.090 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	3.03	0.55 ＊ 0.550 ＊ 10.0
下層路盤工	RC-40 t=10cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装殻運搬		m3	0.28	0.55 ＊ 0.05 ＊ 10.0
残土運搬		m3	5.17	

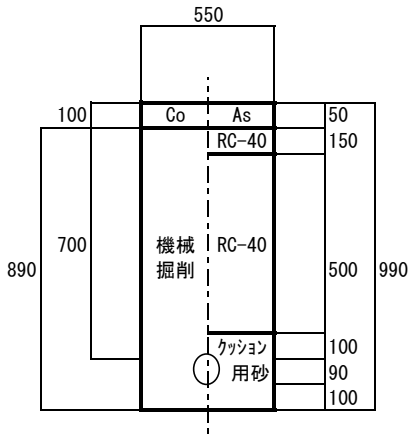
掘削標準断面図



8号　　HPPE φ75　　Co舗装部(民地)　　本設管埋設部

工種		単位	10m当り	計算式
掘削幅		m	0.55	
土被り		m	0.80	
管外径		m	0.090	HPPE φ75 mm
舗装切断工	Co t=10cm	m	20.00	10.0 ＊ 2
舗装版直接掘削積込工	Co t=10cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
機械掘削工		m3	4.90	0.55 ＊ 0.890 ＊ 10.0
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.53	(0.55 ＊ 0.290 － π/4＊ 0.090 `2)＊10.0
機械埋戻工	RC-40	m3	2.75	0.55 ＊ 0.500 ＊ 10.0
上層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
仮復旧工	As t=5cm	m2	5.50	0.55 ＊ 10.0
舗装殻運搬	ｺﾝｸﾘｰﾄ	m3	0.55	0.55 ＊ 0.10 ＊ 10.0
残土運搬		m3	4.90	

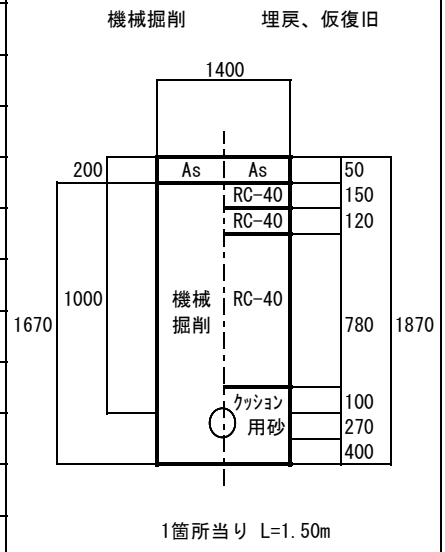
掘削標準断面図



9号　　DIP φ250　　県道　車道　　不断水分岐部

工種		単位	1箇所当り	計算式
掘削幅		m	1.40	
土被り		m	1.20	
管外径		m	0.270	DIP φ250 mm
舗装切断工	As t=20cm	m	5.80	(1.40 + 1.50)*2
舗装版破砕工	As t=20cm	m2	2.10	1.40 * 1.50
舗装版積込工	As t=20cm	m2	2.10	1.40 * 1.50
機械掘削工		m3	3.42	(1.40 * 1.670 - π/4* 0.270 `2)*1.50
機械埋戻工	ｸｯｼｮﾝ用砂	m3	1.53	(1.40 * 0.770 - π/4* 0.270 `2)*1.50
機械埋戻工	RC-40	m3	1.64	1.40 * 0.780 * 1.50
下層路盤工	RC-40 t=12cm	m2	2.10	1.40 * 1.50
下層路盤工	RC-40 t=15cm	m2	2.10	1.40 * 1.50
仮復旧工	As t=5cm	m2	2.10	1.40 * 1.50
舗装殻運搬		m3	0.42	1.40 * 0.20 * 1.50
残土運搬		m3	3.42	

掘削標準断面図



土留工計算書

名　　称	形状寸法	単位	土工種別									計	備　考
			9号										
			不断水分岐										
軽量鋼矢板建込み工	矢板長　H=2.0m 1.50m<H≦1.80m	m											
〃	矢板長　H=2.5m 1.80m<H≦2.00m	m	1.50									1.5	
〃	矢板長　H=2.5m 2.00m<H≦2.30m	m											
〃	矢板長　H=3.0m 2.30m<H≦2.50m	m											
〃	矢板長　H=3.0m 2.50m<H≦2.80m	m											
〃	矢板長　H=3.5m 2.80m<H≦3.30m	m											
〃	矢板長　H=4.0m 3.30m<H≦3.80m	m											
軽量鋼矢板引抜き工	矢板長　H=2.0m 1.50m<H≦1.80m	m											
〃	矢板長　H=2.5m 1.80m<H≦2.00m	m	1.50									1.5	
〃	矢板長　H=2.5m 2.00m<H≦2.30m	m											
〃	矢板長　H=3.0m 2.30m<H≦2.50m	m											
〃	矢板長　H=3.0m 2.50m<H≦2.80m	m											
〃	矢板長　H=3.5m 2.80m<H≦3.30m	m											
〃	矢板長　H=4.0m 3.30m<H≦3.80m	m											
支保設置工	1段支保 H=2.0m以下	m	1.50									1.5	腹起し：軽量金属 切梁：水圧式サポート
〃	2段支保 H=3.5m以下	m											〃
〃	3段支保 H=4.0m未満	m											〃
支保撤去工	1段支保 H=2.0m以下	m	1.50									1.5	〃
〃	2段支保 H=3.5m以下	m											〃
〃	3段支保 H=4.0m未満	m											〃

４．本復旧工

本復旧工集計表

名　　称	細　別	単　位	当　初 数　量	変　更 数　量	増減	備　考
(県道・車道復旧)						
不陸整正工	補充材なし	m2	586			
上層路盤工	粒度調整砕石 (M-30)　　t=10cm	m2	749			
切削オーバーレイ	一次切削　2層	m2	1330			
路面切削	二次切削	m2	503			
目地材設置	成形目地	m2	38			
殻運搬(路面切削)	As	m3	184			
As殻処分工	As塊	m3	184			
区画線工	溶融式、実線 (白) 幅15cm	m	420			
〃	溶融式、実線 (黄) 幅15cm	m	6			
〃	溶融式、実線 (白) 幅30cm	m	5			停止線
〃	溶融式　記号・文字 (白) 15cm換算	m	5			文字
〃	溶融噴射式 矢羽根 (青 1.5m×0.75m)	箇所	3			
〃	溶融噴射式　自転車マーク付き 矢羽根 (2.2m×0.75m)	箇所	1			
(民地部)						
舗装版切断工	Co t=5cm	m	24			
舗装版切断工	As t=5cm	m	10			
舗装版取壊し工	Co t=10cm	m2	5			
舗装版取壊し工	As t=5cm	m2	11			
機械掘削工	土砂	m3	2			
不陸整正工	補充材有　t=3cm	m2	5			
上層路盤	粒度調整砕石 (M-30)　　t=10cm	m2	12			
アスファルト舗装工	再生密粒度AS　t=5cm	m2	17			
Co殻処分工	Co塊	m3	0.5			
As殻処分工	As塊	m3	0.6			
残土処分工	土砂	m3	2			
汚泥給排車運搬工		m3	0.2			
汚泥処理		t	0.2			
区画線工	溶融式、実線 (白) 幅30cm	m	2			停止線
〃	溶融式　記号・文字 (白) 15cm換算	m	7			「止まれ」

アスファルト舗装本復旧計算（県道・車道）

名　称　　形状寸法	計　　算　　式	計	摘要
本舗装復旧面積	舗装面積計算書より　222.460　+　1076.620　+　17.71　+　17.84		
	= 1334.630	1335 ㎡	
仮舗装復旧面積	本設管布設土工集計表より　= 274.60	275 ㎡	
1　切削オーバーレイ（1次切削）			
一次切削及び舗装(AS)(t=10cm)	舗装復旧図より　222.460　+　1076.620　+　17.71　+　17.84		
	改質Ⅱ型(t=5cm)、粗粒度AS(t=5cm)　= 1334.630	1335 ㎡	
2　路面切削（2次切削）			
二次切削(AS＋上層路盤)(t=10cm)	274.60　+　365.76×(2.00-0.70)		
	+｛(0.65+2.27)+(0.65+0.49+6.66)+(0.91+3.14)｝×0.60　= 502.53	502.5 ㎡	
3　As殻運搬			
1次切削　t=10cm	1334.630　×　0.10　= 133.46		
2次切削　t=10cm	502.53　×　0.10　= 50.25		
	計 183.71	183.7 ㎡	
4　As殻処分			
1次切削　t=10cm	1334.630　×　0.10　= 133.46		
2次切削　t=10cm	502.53　×　0.10　= 50.25		
	計 183.71	183.7 ㎡	
5　不陸整正			
不陸整正　補足材なし	274.60　+　365.76×(2.00-0.70)		
	+｛(0.65+2.27)+(0.65+0.49+6.66)+(0.91+3.14)｝×0.60　= 502.53	502.5 ㎡	
6　上層路盤工			
粒度調整砕石 (M-30)　t=10cm	274.60　+　365.76×(2.00-0.70)		
	+｛(0.65+2.27)+(0.65+0.49+6.66)+(0.91+3.14)｝×0.60　= 502.53	502.5 ㎡	
7　成形目地材			
成形目地材　w=5.0cm	114.44＋648.88 = 763.32		
	763.32　×　0.05　= 38.17	38.2 ㎡	
9　区画線工			
外側線(白)　幅15cm	舗装復旧図より　57.83+350.87+3.00+3.00　= 420.37	420.4 m	実線
中央線(黄)　幅15cm	舗装復旧図より　3.00+3.00　= 6.00	6.0 m	実線
停止線(白)　幅30cm	舗装復旧図より　5.07　= 5.07	5.1 m	実線
文字　幅15cm換算	舗装復旧図より　5.00　= 5.00	5.0 m	記号・文字
矢羽根型路面表示(青)	舗装復旧図より　3　= 3	3 箇所	記号・文字
自転車マーク付矢羽根型路面表示(青)	舗装復旧図より　1　= 1	1 箇所	記号・文字

アスファルト舗装本復旧計算（民地・As舗装部）

名　称　　形状寸法	計　　算　　式			計	摘要
本舗装復旧面積	舗装復旧図より　4.32	=	4.32	4 ㎡	
仮舗装復旧面積	本設管布設土工集計表より	=	1.69	2 ㎡	
影響面積	4.32　－　1.69	=	2.63	3 ㎡	
1　舗装版切断工					
As t=5cm	舗装復旧図より　9.64	=	9.64	9.6 m	
2　舗装版取壊し工					
仮舗装As　t=5cm	1.69	=	1.69		
影響部As　t=5cm	2.63	=	2.63		
		計	4.32	4.3 ㎡	
3　機械掘削工(路盤掘削)	(0.55+0.20)×3.07×0.10	=	0.23	0.2 ㎥	
4　不陸整正工					
補充材有	4.32　－　2.30	=	2.02	2.0 ㎥	
5　路盤工					
M-30　t=10cm	(0.55+0.20)×3.07	=	2.30	2.3 ㎥	
6　アスファルト舗装工					
表層					
再生密粒　t=5cm	4.32	=	4.32	4.3 ㎡	
7　As殻処分工					
仮舗装As　t=5cm	1.69　×　0.05	=	0.08		
影響部As　t=5cm	2.63　×　0.05	=	0.13		
		計	0.21	0.2 ㎥	
8　残土処分工	0.23	=	0.23	0.2 ㎥	
9　汚泥給排車運搬工					
AS舗装版切断	9.64　×　0.006375	=	0.06	0.1 ㎥	
10　汚泥処理					
AS舗装版切断	9.64　×　0.006375　×　1.1	=	0.07	0.1 t	
11　区画線工					
停止線(白)　幅30cm	舗装復旧図より　1.00	=	1.00	1.0 m	実線
止まれ(文字)　幅15cm換算	舗装復旧図より　6.70	=	6.70	6.7 m	記号・文字

アスファルト舗装本復旧計算（民地・Co舗装部）

名　称　　形状寸法	計　　算　　式			計	摘要
本舗装復旧面積	舗装復旧図より　12.21	=	12.21	12 ㎡	
仮舗装復旧面積	本設管布設土工集計表より	=	6.78	7 ㎡	
影響面積	12.21　－　6.78	=	5.43	5 ㎡	
1　舗装版切断工					
Co t=10cm	舗装復旧図より　24.42	=	24.42	24.4 m	
2　舗装版取壊し工					
仮舗装As　t=5cm	6.78	=	6.78		
影響部Co　t=10cm	5.43	=	5.43		
		計	12.21	12.2 ㎡	
3　機械掘削工(路盤掘削)	0.55×12.33×0.15+0.20×12.33×0.10	=	1.26	1.3 ㎥	
4　不陸整正工					
補充材有	12.21　－　9.25	=	2.96	3.0 ㎥	
5　路盤工					
M-30　t=10cm	(0.55+0.20)×12.33	=	9.25	9.3 ㎥	
6　アスファルト舗装工					
表層					
t=10cm	12.21	=	12.21	12.2 ㎡	
7　As殻処分工					
仮舗装As　t=5cm	6.78　×　0.05	=	0.34	0.3 ㎥	
8　Co殻処分工					
影響部As　t=10cm	5.43　×　0.10	=	0.54	0.5 ㎥	
9　残土処分工	1.26	=	1.26	1.3 ㎥	
10　汚泥給排車運搬工					
Co舗装版切断	24.42　×　0.006375	=	0.16	0.2 ㎥	
11　汚泥処理					
Co舗装版切断	24.42　×　0.006375　×　1.1	=	0.17	0.2 t	
12　区画線工					
停止線(白)　幅30cm	舗装復旧図より　1.00	=	1.00	1.0 m	実線

特　記　仕　様　書

１．総則

☑ 本工事は、三重県公共工事共通仕様書、日本水道協会水道工事標準仕様書及び工事請負契約書に基づき施工するものであるが、加えて下記の事項を厳守すること。

２．一般事項

☑ 工事着手に当り地域住民に連絡し、工事施工に支障のないようにすること。

☑ 工事着手に先立ち、警察・消防に交通障害、工事届けを提出し、その写しを発注者へ提出すること。

☑ 隣接する構造物に影響を与えないよう充分注意し予防策を講じること。

☑ 安全管理・現場管理に留意し、事故の未然防止に努めること。

☑ 交通の支障にならないよう施工計画及び安全管理に努めること。

３．施工管理（管工事・水道施設）

☑ 埋戻において、管を損傷しないように留意し、偏心偏圧のかからないよう層状に十分締固を行うこと。（一層仕上り厚：200mm以下）

☑ 配管の配列及び形状寸法に変更が生じる時は、監督員と協議の上、施工するものとする。

☑ 工事材料及び管材料については、JIS規格又はJWWA規格の製品を使用するものとし、監督員の品質を証明する資料を提出すること。

☑ 工事完成後の残管及び残材料の処理については、監督員の指示に従うこと。

☑ 出来形管理資料として、完工図（完工予測図含）を提出すること。

☑ 路面を汚さないよう細心の注意を払うこと。また、汚した場合は散水車にて洗浄処理を受注者の責任において処理すること。

☑ 管種に合わせた接合要領書に従い、チェックシートを作成し施工管理を行うこと。

☑ インジケータの隆起を確認できるよう写真管理を行うこと。

☑ 融着開始・完了、クランプ取外しにおいて時間等が確認できるよう写真管理を行うこと。

☐ 給水装置に係る工事については、給水装置工事主任技術者免状を有する者若しくは同等の資格を有する者が指導、監督を行うこと。

☑ 施工に伴い発生する段差及び隙間については、受注者の責任において適正に加工、処理を行うこと。

☑ 水道配水用ポリエチレン管の接合時には、水道配水用ポリエチレン配管施工講習受講者を必ず配置すること。

☑ 耐震用ダクタイル鋳鉄管の接合時には、耐震継手技能者が施工すること。

☐ 量水器・給水引込等の切替の際は、対象住居の方と連絡を取り、切替後二次側にてエアー及び濁水が発生していないか確認を行うこと。また連絡等が取れない場合は監督員と協議すること。

４．舗装版切断時に発生する排水汚泥の処理について

- ☑ 舗装版切断作業時に発生する排水汚泥について、産業廃棄物として処理すること。
- ☑ 排水汚泥が生じない工法を用いる場合において、監督員と協議承諾した場合でも産業廃棄物として処理すること。
- ☑ 排水汚泥の運搬は、受注者が自ら行うものとする。ただし、下請け契約して運搬する場合は、産業廃棄物の汚泥の収集運搬業許可を得ている業者と契約を締結すること。
- ☑ 排水汚泥を中間処理業者へ持ち込む前に土壌汚染対策法に基づく10項目の試験を発注者が行う為、排水汚泥を試験容器へ採取し、溶出量基準又は含有量基準以下であること確認し、中間処理業者へ持ち込むこと。なお、その試験結果は監督員から受注者へ報告する。
- ☑ 処分完了後は速やかに監督員へ処分量を報告すること。また、処分量に大きな変動があった場合は、監督員と協議すること。
- ☑ 10項目の試験結果が基準を超えた場合、または、中間処理業者が処理不可と判断した場合、監督員から受注者へ協議すること。

土壌汚染対策法に基づく試験項目

物質名	溶出量基準(mg/L)	含有量基準(mg/kg)
カドミウム	0.01	150
鉛	0.01	150
六価クロム	0.05	250
ひ素	0.01	150
水銀	0.0005	15
アルキル水銀	N.D.(不検出)	
セレン	0.01	150
ふっ素	0.8	4000
ほう素	1	4000
全シアン	N.D.(不検出)	(遊離CN)50

5．建設発生土の処理について

☑ 建設発生土を指定残土処理場へ持ち込む前に土壌汚染対策法に基づく25項目の試験を発注者において行う為、掘削土を試験容器に採取を行い、溶出量基準又は含有量基準以下であること確認し、指定残土処理場等へ持ち込むこと。なお、その試験結果は監督員より受注者へ通知を行う。

☑ 処分完了後は速やかに監督員へ処分量を報告すること。また、処分量に大きな変動があった場合は、監督員と協議すること。

☑ 25項目の試験結果が基準を超えた場合、監督員が速やかに受注者と協議を行う。

土壌汚染対策法に基づく試験項目

物質名	溶出量基準(mg/L)	含有量基準(mg/kg)
カドミウム	0.01	150
六価クロム	0.05	250
シマジン	0.003	-
シアン化合物	検出されない事	50 (遊離シアン)
チオベンカルブ	0.02	-
四塩化炭素	0.002	-
1,2-ジクロロエタン	0.004	-
1,1-ジクロロエチレン	0.02	-
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	-
1,3-ジクロロプロペン	0.002	-
ジクロロメタン	0.02	-
水銀	0.0005	15
セレン	0.01	150
テトラクロロエチレン	0.01	-
チウラム	0.006	-
1,1,1-トリクロロエタン	1	-
1,1,2-トリクロロエタン	0.006	-
トリクロロエチレン	0.03	-
鉛	0.01	150
砒素	0.01	150
ふっ素	0.8	4000
ベンゼン	0.01	-
ほう素	1	4000
ポリ塩化ビフェニル	検出されない事	-
有機リン	検出されない事	-

6．付則

☑ ＊その他必要な事項は、その都度協議し決定するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
工程関係	□ 別途工事との工程調整が必要あり （別途工事名：菅島地区飲料用耐震性貯水槽設置工事）	□ 調整項目（ □ 資材等の流用 □ 仮設及び工事用道路等の調整 □ 建設機械等の調整 □ 施工順序の調整 □ その他（ ） □ 別途協議 ）
	□ 施工時期、施工時間及び施工方法の制限あり	□ 制限する工種名（ ） 施工時期及び施工時間（ ） 施工方法（ ）
	☑ 他機関との協議が未完了	☑ 協議が必要な機関名（三重県志摩建設事務所 ） 協議完了見込み時期（ ）
	□ 占用物件との工程調整の必要あり	□ 占用物件名（ □ 電気 □ 電話 □ 水道 □ ガス □ その他（ ）））
	□ 余裕期間設定工事	□ 発注者指定方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。本工事の着手日は令和 年 月 日とする。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。 □ 任意着手方式 本工事は余裕期間を設定する工事である。受注者は、落札決定日の翌日から起算して３日以内に令和 年 月 日（工事着手期限日）までの期間内で工事着手日を決定し発注機関に通知することとし、本工事の着手日はその日とする。ただし、一度通知した着手日を変更することは認めない。また、休日（三重県の休日を定める条例第１条に規定する休日）を着手日に設定すること、及び設定した着手日により工期末が休日となる設定は認めない。余裕期間は契約締結日から工事着手日の前日までとする。なお、共通仕様書に規定する工期とは、本工事においては余裕期間を含んだ期間を指す。 余裕期間設定工事については以下によるものとする。 ・ 建設業退職金共済制度掛金収納書の提出については、三重県公共工事共通仕様書によらず工事着手日までに提出するものとする。 ・ 本工事は、余裕期間を設定した工事であり、主任（監理）技術者の配置は工事着手日とする。受注者は、契約時に現場代理人等選任通知書に記載した技術者を工事着手日に配置しなければならない。工事着手日に配置できず、余裕期間設定工事試行要領第7条第1項により技術者の変更が認められない場合は、工事続行不能届を提出しなければならない。
	□ その他（ ）	□ その他（ ）
用地関係	□ 用地補償物件の未処理箇所あり	□ 未処理箇所（ □ 別添図等 □ No. ～No. □ 別途協議 ） □ 完了見込み時期（ □ 令和 年 月頃 □ 別途協議 ）
	□ 仮設ヤードの有無	□ 仮設ヤード（ □ 官有地 □ 民有地 □ その他（ ） □ 別途協議 ） □ 仮設ヤード使用期間（ ） □ 仮設ヤードからの運搬距離（Ｌ＝ km） □ 使用条件・復旧方法（ ）
	□ その他（ ）	□ その他（ ）
公害対策関係	☑ 施工方法の制限あり	☑ 制限項目 （ ☑ 騒音 ☑ 振動 ☑ 水質 ☑ 粉じん ☑ 排出ガス □ その他（ ）） □ 施工方法等（ □ 指定工法名（ ） □ その他（ ） □ 別途協議 ） □ 施工時期 （ ）
	□ 事業損失防止に関する調査あり	□ 調査項目 （ □ 騒音測定 □ 振動測定 □ 水質調査 □ 近接家屋の事前・事後調査 □ 地盤沈下測定 □ 地下水位等の測定 □ その他（ ） □ 別途協議 ） □ 調査方法 （ □ 別途資料 □ その他（ ） □ 別途協議 ）
	□ その他（ ）	□ その他（ ）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
安全対策関係	☑ 交通安全施設等の指定あり	□ 交通安全施設等の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　） □ 交通誘導警備員の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　） □ 指定路線　□ 指定路線以外 ☑ 交通誘導警備員の配置人員数 ☑ 概算人数による算出 ① 交通誘導警備員の人数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ人数：交通誘導警備員　A：　　人　B：　80　人 （注：交通誘導警備員Aが配置できない場合も変更の対象とする。） ② 受注者は、工事着手前に配置計画等（配置人員、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする交通誘導警備員の延べ配置人員を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、延べ配置人員の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績人数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 交通誘導警備員の配置完了後、協議により定めた実績人数が確認できる資料を提出すること。 □ 積上げによる算出 □ 配置人員数（　人）＋　交代要員（　人）　（うち交通誘導警備員A（　人）） （注：配置人員数の変更は原則行わないものとする。但し、交通誘導警備員Aが配置できない場合は変更の対象とする。） □ 交通誘導警備員の配置時間（20：00～6：00） ☑ 交通誘導警備員の配置期間（工事施工期間中） ☑ 交通誘導警備員配置の対象工種（全工種）
	☑ 近接施設等に対する制限	☑ 既存施設あり ・近接公共施設　（ □ 鉄道　☑ 電気　☑ 電話　☑ 水道　□ ガス　□ その他（　　）） ・近接施設（ □ 擁壁（　　）□ ブロック塀　□ 家屋　□ その他（　　）） ・現地の状況を適切に把握して施工を行うこと。 □ 工法制限あり ・制限を受ける工種　（　　） ・制限内容　（　　）
	□ 土砂崩落・発破作業に対する防護施設等に指定あり	□ 安全防護施設等の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　） □ 保安要員の配置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　）
	☑ 現場での安全確保（自主施工の原則）	☑ 受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等の一切の手段について、自らの責任において定め、工事を実施すること。 ☑ 設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定仮設の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い指示を受けた後、受注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。
	☑ 事故速報の提出	☑ 受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に連絡するとともに、事故の概要を所定の書面により速やかに報告すること。
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
工事用道路関係	□ 一般道路（搬入路）の使用制限あり □ 仮設道路の設置条件あり	□ 経路及び使用期間の制限内容　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　） □ 使用中及び使用後の措置　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　） □ 用地及び構造　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　） □ 安全施設　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明示項目	明示事項	条件及び内容
仮設備関係	□ 仮設備の設置条件あり	□ 使用期間及び借地条件　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 転用あり（　　回） □ 兼用あり（　　） □ その他（　　）
	☑ 水替工（締切排水工）	□ 施工条件の指定なし ☑ 施工条件の指定あり ① 水替工（締切排水工）の水替日数は、概算数量としているため、設計変更の対象とする。 概算延べ水替日数：　5　日 ② 受注者は、工事着手前に計画工程表等（対象工種、期間等）を作成し、それを基に、監督員と必要とする水替日数を協議すること。工事着手後、計画を変更する必要が生じた場合は、随時、協議を行い、計画を見直すこと。なお、水替日数の算出は、県が定める作業日当たり標準作業量等を用い作成するものとし、現場条件等により県の標準作業量等と差が生じる場合は、その理由を明確にした計画をもって協議すること。また、実績日数の確認方法についても合わせて協議を行うこと。 ③ 水替工（締切排水工）完了後、協議により定めた実績日数が確認できる資料を提出すること。 □ その他（　　）
	□ 仮設物の構造及び施工方法の指定	□ 構造及び設計条件　（ □ 別添図等　□ その他（　　）　□ 別途協議 ） □ 施工方法（　　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
建設発生土・産業廃棄物関係	☑ 建設発生土受入地の指定あり	☑ 受入地の条件（ □ 別途図面　☑ 運搬距離（L＝　6.4　km）※加茂川ふれあいパーク/鳥羽市岩倉町247 □ 受入料金あり　☑ 受入料金なし　□ 別途協議　□ その他（　　）） □ 受入地未定につき別途協議する。（ □ 暫定運搬距離L＝　km、 □ その他（　　）） ☑ 産業廃棄物の種類　（ ☑ コン塊　☑ アス塊　□ 木材　☑ 汚泥　□ その他（　　）） ☑ 産業廃棄物の処分地　（ ☑ 再生処分場（　　）　□ 最終処分場（　　）　□ 別添図書 ☑ その他（ Co塊、As塊：丸又鉱業、汚泥：山本建材　）□ 別途協議 ） 【注：特段の理由により処分先や運搬距離を明示する場合はその他の項目（　　）に記入のこと。】 □ 処分場の受入条件　（　　） ☑ 舗装切断時の排水処理 アスファルト・セメントコンクリート舗装の切断時に発生する排水（泥水）を河川や側溝に排水することなく排水吸引機能を有する切断機械等により回収するものとする。また、回収水等は、産業廃棄物として取り扱うものとし、適正に処理しなければならない。「適正に処理」するとは、「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に基づき、産業廃棄物の排出事業者（受注者）が産業廃棄物の処理を委託する際、適正処理のために必要な廃棄物情報（成分や性状等）を処理業者に提供することが必要である。なお、受注者は、回収水等の産業廃棄物管理票（マニフェスト）について、監督員に提示しなければならない。 ☑ 舗装切断時の回収水等の運搬・処理については、契約後、監督員と協議すること。
	□ 建設発生土受入地未定	
	☑ 産業廃棄物の処理条件あり	
	☑ その他（　スクラップ　）	☑ その他（　残管スクラップ：マックメタル　）
工事支障物件関係	☑ 工事支障物件あり	☑ 支障物件名　（ □ 鉄道　☑ 電気　☑ 電話　☑ 水道　□ ガス　□ 有線　□ その他（　　）） □ 移設時期　（ □ 令和　年　月　頃　□ 別途協議） □ 防護　（　　）
	□ その他	□ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
薬液注入関係	□ 薬液注入工法等の指定あり	□ 設計条件（　　）　工法区分（　　）　材料種類（　　）　施工範囲（　　） □ 削孔数量（　　）　注入量　（　　）　その他　（　　）
	□ 提出書類あり □ 注入量の確認、注入の管理及び注入の効果の確認	□ 工法関係（　　）　材料関係（　　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
再生材使用関係	☑ 再生材使用の指定あり	☑ 再生材の種類（ ☑ 再生Ａsコン　□ 再生路盤材　☑ 再生クラッシャーラン　□ 道路用盛土材　□ 再生コン砂 ） ☑ 再生材が使用出来ない場合の措置（ ☑ 新材に変更　□ その他（　　）□ 別途協議 ）
	□ 六価クロム溶出試験あり（環境告示第46号溶出試験）	□ 再生コンクリート砂（１購入先当たり１検体の試験を行い、試験報告書には、使用する工事名称、所在地を記載する。）
	☑ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく 認定製品の使用について	□ 三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用する。ただし、認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議すると。 （認定製品の品名：□ 盛土材　□ 埋戻し材　□ サンドクッション材　□ 上層路盤材　□ コンクリート二次製品 □ グレーチング　□ その他（　　）） ☑ 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進条例に基づく認定製品を使用するように努める。 （認定製品の品名：　間伐材製工事用バリケード・看板・標示板　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
そ　の　他	□ 工事用機材の保管及び仮置きの必要あり	□ 保管場所（　　）　期間（　　）　その他（　　）
	□ 現場発生品あり	□ 品名（　　）　数量（　　）　保管場所（　　）　その他（　　）
	□ 支給品あり	□ 品名（　　）　数量（　　）　引渡場所（　　） 時期（令和　　年　　月　　日）　その他（　　）
	□ 盛土材等工事間流用あり	□ 運搬方法（ □ 受注者で運搬　□ 受注者以外で運搬　□ 別途協議　□ その他（　　）） □ 引渡場所（ □ 別添図等　□ 別途協議　□ その他（　　）） 数量（　　）　運搬距離（Ｌ＝　　km）
	□ 現場環境改善費適用工事	□ 現場環境改善の内容（率分）（　　） □ 現場環境改善の内容（積上）（　　）
	□ その他（　　）	□ その他（　　）
適 用 条 件	☑ 適用条件	☑ 三重県公共工事共通仕様書（令和6年7月版）を適用（部分改定を行った内容も含む（最新改定：令和7年7月）） ☑ 「土木構造物設計マニュアル（案）　　編」を適用 ☑ デジタル工事写真の小黒板情報電子化に係る特記仕様書（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照　） ☑ ダンプトラック等による過積載等の防止に関する特記仕様書を適用（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照　） ☑ 「月２回土日完全週休２日制工事（発注者指定型）」に係る特記仕様書（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照　） □ 「基礎工（既製杭工）特記仕様書」を適用（鳥羽市HP「設計・積算情報」を参照　） □ その他（　　）

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
入札・契約方式	□ 入札時ＶＥ方式 □ 契約後ＶＥ方式 □ 設計・施工一括発注方式 □ プロポーザル方式 □ 総合評価方式	□ 契約前のＶＥ提案に基づき施工しなければならない。 □ 契約後にＶＥ提案を受け付ける。 □ 細部設計の承認を受けなければならない。 □ 本件工事で提案不履行があった場合は、本件工事完成年度の翌年度に総合評価方式で発注する案件（以下「発注工事」という。）で、貴社の評価点において発注工事の加算点（満点）の１割を減点します。
電 子 納 品	□ 工事完成図書（工事写真含む） ☑ 電子納品対象外	□ 工事完成図書は電子納品とする。ただし、電子化が困難な部分について監督員と協議承諾を得たものについてはこの限りではない。 電子媒体の提出部数は、（ □ ２部　□ （　　）部）とする。 □ 三重県ＣＡＬＳ電子納品運用マニュアル（令和　３年　７月改訂）を適用
地質調査の 電子成果品等	□ 地盤情報データベースの登録の必要あり	□ 検定及び登録機関（一般財団法人国土地盤情報センター（https://ngic.or.jp/）） □ 検定料金の計上（　□ Ａ検定　□ Ｂ検定　） （注：受注後、これにより難い場合は設計変更の対象とする。）
産業廃棄物税	□ 産業廃棄物税	□ 本工事には産業廃棄物税相当分が計上されていないため、受注者が課税対象となった場合には完成年度の翌年度の4月1日から8月31日までの間に別に定める様式に産業廃棄物税納税証明書等を添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うこと。なお、この期間を超えて請求することはできない。また、設計数量を超えて請求することはできない。
コリンズ 作成・登録	☑ コリンズ（CORINS）の作成・登録	☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、コリンズ（CORINS）の作成・登録を行うこと。
建設副産物・建設発生土情報交換システム	☑ 建設副産物情報交換システム □ 建設発生土情報交換システム	☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設副産物情報交換システムにデータを入力すること。 ☑ 三重県公共工事共通仕様書に基づき、建設発生土情報交換システムのデータ更新を行うこと。
下請関係 下請企業 次数制限	□ 下請企業の次数制限	□ 本工事における下請の次数は、２次（建築一式工事は３次）までとする。 上記次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
市内企業 優先使用	☑ 市内企業の優先使用	☑ 本工事において、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方（２次以下の請負人を含む）を市内に本店（建設業法において規定する主たる営業所を含む）を有する者を優先して選定するよう努めること。
県内産製品 優 先 使 用	☑ 建設資材の県内産製品優先使用	☑ 本工事に使用する建設資材について、規格・品質等の条件を満足するものについては、県内産資材の優先使用するよう努めること。 ☑ 本工事で使用する建設資材の調達にあたっては、極力県内の取り扱い業者から購入するよう努めること。
県産木材の 利用推進	□ 県産木材の利用を指定する工種あり	□ 次の工種においては、県産木材を利用する。ただし、県産木材が利用できない場合は、監督員と別途協議すること。 （工種：□ 工事案内看板（標示板）□ 仮設防護柵工　□ 公園施設工（　　）　□ 植栽支柱工　□ 木製ガードレール □ 柵工　□ 筋工　□ 型枠工　□ 視線誘導標　□ 治山ダム工　□ 土留工　□ 伏工（　　） □ 階段工　□ 案内標識　□ その他（　　）　　） □ 上記で指定した工種においては、県産木材の使用が証明できる資料（県産材証明書、納品書等）を監督員に提出しなければならない。 □ 加圧注入による防腐・防蟻処理の性能区分について、設計図書に明示あり。 □ 加圧注入による防腐・防蟻処理の性能区分を証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。 □ 木製ガードレールについては、平成１０年１１月５日付建設省道環発第２９号「防護柵設置基準の改定について」及び同関連通達「車両用防護柵性能確認試験方法について」に定められた試験方法により、土木研究センターにて検証し防護柵の性能を満たしたものであることを証明できる品質証明書等を監督員に提出すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。

特記仕様書（施工条件明示一覧表）

明　示　項　目	明　　示　　事　　項	条　　件　　及　　び　　内　　容
不当介入を受けた場合の措置	☑ 不当介入を受けた場合の措置	☑ 暴力団員等による不当介入（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第14号）を受けた場合の措置について (1) 受注者は暴力団員等（三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第２条第１項第12号）による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。 (2) (1)により三重県警察本部に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかに発注者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。 (3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこ
社会保険等未加入対策	☑ 社会保険等未加入対策 （健康保険、厚生年金保険及び雇用保険）	☑ 適用除外でないにも関わらず社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。 受注者は、施工体制台帳・再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を証明する書類の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。

（注）上記受託業務事項・条件及び内容のレ印当該欄は、作業に当たって制約を受ける事となるので明示する。
明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、発注者と別途協議し適切な措置を講ずるものとする。
別途協議とは、設計・現場説明又は作業打合せ等により協議するものとする。